

11月に入りやっとメキシコは乾季に入ったよう。毎晩の雷雨は影を潜め、久々の星空を見たときの感動たるや。今回は、毎度の如く季節感は全然ないが「メキシコシティの日本人」を文に綴る。メキシコの旅行や時期的なイベントについてはぜひ見山のレポートを参照してほしい。

まず、端的に言ってしまうと「メキシコシティに日本人はめちゃくちゃいる」例えば、「山本食料品店」という日本食材店に土曜日に行くと、まず日本人しかいない。日本にいるような錯覚すら覚えるほどだ。また CEPE に自費留学で来ている日本人も多い。自分の知っている範囲で大学の話をすると UNAM (メキシコ国立自治大学) には何人か日本人留学生もいるが、UAM (メトロポリタン自治大学) はいないようだ。ただ、UNAM はとても広大な敷地を持つ大学で且つ学部・時間割も多種多様なので、まず日本人に会うことはない。個人的にはアジア系も見たことがない。

メキシコシティには日本人と深い関係を持つ施設もたくさん存在する。例えば「日墨協会 - Escuela de Japonés de la Asociación México Japonesa, A.C.」と「日墨学院 - Liceo Mexicano Japonés, AC」だ。協会は日本をメキシコに向けて発信するための存在で、日本風庭園が印象的であり、ここでは秋と春にお祭りが行われている。2019年は10月26、27と二日間にわたり、秋祭りが行われ、日本の花火が打ち上げられたり、広島のお好み焼きや沖縄のサーターアンダギーなど出店があったり、と非常に盛り上がっていた。10月下旬にはカフェテリアもオープンし、どらやきやイチゴ大福など、慣れ親しんだ味でほっこりできるような



秋祭りにて、広島県人会の出店@日墨協会



和菓子美味しい@日墨協会 映画イベント

環境が新設された。休日には入場無料で日本映画を鑑賞できるイベントを開催していることもあり、スペイン語字幕付きで見ることができるので、ちょっとした勉強にもなる(かもしれない)。メキシコで知り合った日本に興味がある人を連れていくと喜ばれる場所ではある。Liceo は日本人の生徒が多く通

「メキシコシティの日本人」

う学校で、授業のない時間にここの施設を利用した剣道やサッカーなどの教室がある。Liceo は教育施設で観光地ではないため、入場に許可が必要であるなど、そうそう気軽に立ち寄れる場所ではないため、多かれ少なかれ人の縁が必要である。

日本食レストランやラーメン屋さんも少なくない。「Bistro Mog」とその上の階にある「Sumiya」そこの系列の「Mogra」というラーメン屋など著名である。ラーメンは「Sairi」が人気らしい。「Café Amano」は 19 時に閉まるが比較的安値で美味しい。「レストラン禅」もある。「wanwan 酒場」や「Taro」もあり、後者は CEPE から徒歩 20 分で天井など食べられるため、日墨生のリピーターも多い。また、各地に「Sukiya (すき屋)」があり、牛丼の味は日本と変わらない。最近はずいぶん「ゴンチャ」がソナロサに進出した。待ち時間 0 で頼むことができるが、甘さが日本に比べて控えめなように感じる。

実は今回このテーマを選んだのにはちょっとした理由がある。今回の留学にあたり、1 年間剣道はできないだろう、と思ってすべて日本に置いて来たのだが、UNAM の剣道部、また Liceo の剣道教室に招いていただく機会に恵まれた。まさかこちらで剣道ができるとは思わず、急いで日本から道具を色々取り寄せている次第だが、防具だけはどうにもならないので、こちらで新規購入しようか検討中である。また、Liceo つながりて競技カルタ (百人一首) のお誘いもいただいた。これで和楽器と書道がメキシコで出来たら、自分の和の趣味は全コンプなのだが、、また、毎月のレポートテーマについても随時募集中である。

Instagram @mio.ymmt.mex



すき屋のラーメンは
海の家を彷彿とさせる



ミルクティーL サイズ 57 ペソ、タピオカ
トッピング 8 ペソ→400 円以下(65 ペソ)。